

南九州大学人間発達学部子ども教育学科子どもの学び研究所の取り組み概要

子どもの学び研究所担当 米 良 栄 州
宮 内 孝
早 川 純 子
趙 雪 梅
酒 井 喜八郎

I. はじめに

子どもの学び研究所は、本学部開設準備を進めていた平成21年度、子どもの学び研究室として先行開設し、人間発達学部子ども教育学科が開設された平成22年度から子どもの学び研究所として活動を継続している。活動を開始後7年目となる活動について経過をまとめる。

II. 活動の具体

1 27年度研究拠点校並びに研究員

(1) 研究拠点校

幼 稚 園	小 学 校
1 学校法人天竜学園認定こども園 天竜幼稚園	1 都城市立 南小学校
2 学校法人天竜学園認定こども園 天竜第二幼稚園	2 都城市立 東小学校
3 学校法人天竜学園認定こども園 天竜第三幼稚園	3 都城市立 上長飯小学校
4 学校法人天竜学園認定こども園 天竜祝吉幼稚園	4 都城市立 祝吉小学校
	5 三股町立 三股小学校
	6 三股町立 三股西小学校

(2) 研究員

1 天竜第二幼稚園 園 長 佐々木 慈 舟	1 都城市立 南小学校 教 諭 内 藤 博 文
2 天竜祝吉幼稚園 園 長 上 原 睦 子	2 都城市立 東小学校 主幹教諭 田 中 美 充
3 天竜幼稚園 主任教諭 田 実 美 幸	3 都城市立 上長飯小学校 主幹教諭 佐 藤 須三郎
4 天竜第二幼稚園 主任教諭 北 園 由美子	4 都城市立 祝吉小学校 教 諭 大久保 修
5 天竜第三幼稚園 主任教諭 山 城 隆 子	5 三股町立 三股小学校 教 諭 溝 口 常 彦
6 天竜祝吉幼稚園 主任教諭 河 野 祐 子	6 三股町立 三股西小学校 主幹教諭 大 浦 英二郎

(3) 研究員の活動

研究員の活動は、月1回、16:30～18:00までの1時間30分、子どもの学び研究所にて実施することを原則としている。以下、平成27年度の取り組みの概要である。

ア 主な研究内容

- ① 学部と連携拠点学校園との連携の内容、在り方について
- ② 学校現場の課題について、大学側職員・研究員の研究協議
- ③ 本学部学生の研究発表等への指導
- ④ 本学学生への指導的立場からの活動
- ⑤ 本学部学生の小学校教育実習及び幼稚園教育実習の模擬授業の指導

年間3回、各40分、現在連携学校園において行われている教育活動の現状を、学生との対談の中で紹介し、学生の学問及び研究に対する視点が、常に教育現場の今日的課題に沿ったものになるように促す。学生にしても、現在の学校現場の具体的な課題等を研究員から学び、将来へ生かしていくことができることをねらいとして行う。

イ 年間活動計画

平成27年度 子どもの学び研究所としての取り組み		
月 日	曜日	主 な 研 究 活 動 内 容
5月26日	火	研究員委嘱状交付式・第1回研究員会議 (研究員及び大学側関係教員紹介・計画立案について)
6月30日	火	第2回研究員会議 第4学年学生とのグループ別対談
7月28日	火	第3回研究員会議 第3学年学生とのグループ別対談 (連携の具体的な進め方について)
10月27日	火	第4回研究員会議 小学校教育実習模擬授業への指導 幼稚園教育実習模擬授業への指導
11月24日	火	第5回研究員会議 学校運営上の課題について、大学教員を加えてともに協議 ① 不登校の子どもがいる保護者への対応 ② 若い教員への指導
1月26日	火	第6回研究員会議 第1学年学生とのグループ対談
2月23日	火	第7回研究員会議 4年生学生の研究発表の指導、本年度の研究の総括について

ウ 学部と連携拠点学校園との連携の内容、在り方の具体

本年度の学部と連携拠点学校園との具体的な連携については、平成22年度からの基本姿勢を継続しながら「子ども支援地域活動」において学生に具体的に携わらせることを原則とすることとした。

ねらいは、小学校及び幼稚園並びに保育の場に学生が参加し、子どもを支える地域の活動に参加することを通して、子どもの地域に果たす役割を実践的に理解し、それを支える活動の意味を把握させ、学部の講義で学んだことを単なる知識として終わらせるのではなく、実践的な力へと発展させることである。

平成22年度が活動の開始年度として連携の基本的な事柄が整備された年として位置付けられるのに加えて、平成23年度は連携活動を拡大し平成24年度以降は、連携活動がより円滑化した年として位置付けられる。

(4) 拠点校との連携活動

前述のように、拠点校とは研究員を通して、あるいは学校の具体的な教育活動への参加を通して、連携を深めてきた。

さらに拠点校を含む複数の園や学校で、観察実習や教育実習を実施してきた。

① 観察実習

幼稚園観察実習校 一覧

1 アソカ幼稚園（3名）	6 清涼幼稚園（3名）	11 天竜第三幼稚園（3名）
2 一万城幼稚園（3名）	7 第一幼稚園（3名）	12 天竜祝吉幼稚園（3名）
3 さくら幼稚園（3名）	8 妻ヶ丘幼稚園（3名）	13 にし幼稚園（2名）
4 ししのご幼稚園（3名）	9 天竜幼稚園（3名）	14 ふたば幼稚園（2名）
5 都城聖ドミニコ学園幼稚園（2名）	10 天竜第二幼稚園（2名）	15 みまた幼稚園（3名）

小学校観察実習校 一覧

1 都城市立 南小学校（5名）	6 都城市立 大王小学校（5名）
2 都城市立 東小学校（5名）	7 都城市立 川東小学校（4名）
3 都城市立 上長飯小学校（5名）	8 三股町立 三股小学校（5名）
4 都城市立 祝吉小学校（6名）	9 三股町立 三股西小学校（6名）
5 都城市立 明道小学校（3名）	10 三股町立 勝岡小学校（5名）

② 教育実習

幼稚園教育実習校 一覧

1 アソカ幼稚園（3名）	8 天竜第二幼稚園（2名）	15 一万城幼稚園（2名）
2 ししのご幼稚園（3名）	9 天竜第三幼稚園（4名）	16 さくら幼稚園（3名）
3 都城聖ドミニコ学園幼稚園（3名）	10 にし幼稚園（3名）	17 天竜祝吉幼稚園（3名）
4 清涼幼稚園（3名）	11 ふたば幼稚園（3名）	18 みまた幼稚園（3名）
5 第一幼稚園（3名）	12 大淀幼稚園（3名）	19 ひろせ幼稚園（2名）
6 妻ヶ丘幼稚園（3名）	13 野の花幼稚園（1名）	20 宮崎至慶幼稚園（1名）
7 天竜幼稚園（4名）	14 南宮崎カトリック幼稚園（1名）	21 宮崎カトリック幼稚園（3名）

小学校教育実習校 一覧

1 明道小学校（3名）	7 沖水小学校（3名）	13 上長飯小学校（3名）
2 南小学校（3名）	8 川東小学校（2名）	14 祝吉小学校（2名）
3 大王小学校（3名）	9 安久小学校（2名）	15 明和小学校（2名）
4 東小学校（3名）	10 三股小学校（3名）	16 山之口小学校（2名）
5 五十市小学校（3名）	11 三股西小学校（3名）	17 勝岡小学校（2名）
6 西小学校（3名）	12 末吉小学校（2名）	18 財部小学校（2名）

2 主催事業 チャレンジ算数教室の実施

(1) はじめに

チャレンジ算数教室は、算数的活動を通して子どもたちに、算数の面白さや楽しさを感じてもらう教室である。今年度が第1回目の開催である。主な活動についてまとめる。

(2) 活動の具体

① 活動の日時・参加者

○日 時 11月中旬～12月中旬、毎週土曜日の13:30～16:00までの計4回

○参加者 小学2年生～小学5年生児童とその保護者、約35名

保護者同伴での参加を依頼

② 活動の目的

算数的活動を通して普段学校の授業では学ぶことのできない算数の面白さや楽しさに気付くとともに、児童の算数への興味関心を高めることを目的とする。

自分が知らないことに対して、自ら挑戦したり、新しい角度から見る発見を体験したりすることも目的とする。また、保護者が児童と共に考える交流の場になることも含める。

支援者として加わる学生にとっても、計4回の準備・活動を通して、教材研究を深めたり子どもや保護者と交流したりすることで、指導法の工夫に努めるなどといった目的もある。

③ 活動の内容

第1回 迷路を突破できるかな？

第2回 敷き詰めてみよう

第3回 算数音楽会

第4回 折り紙が変身

以上の題目で活動を進めた。内容としては2進数や比、正多角形の性質を解き明かすなど、今の小学校の教育課程には含まれていないことも交えて活動を行った。そのため、子どもたちが苦手意識を持たずに活動に取り組めるように、インターネットを使用したり、クイズやパズル形式で問題に挑戦したりするなど、教材の開発・工夫に努めた。

3 都城市との共催事業の実施

都城市との共催事業として「産学官連携バックアップセミナー」を下記の内容で実施した。

(1) 期 日 平成28年2月13日(土)

(2) 場 所 都城キャンパス

(3) 内 容

「子どもの健やかな育ちをめざして～子どものからだと心を育む『運動遊び』『英語活動』～」をテーマに、「運動遊び」と「英語活動」を取り上げ、社会・地域ではどのような取り組みが必要かを参加者のみなさんと一緒に考えた。

(4) 内 容 < 参考資料2 参照 >

- ・実 技：親子で楽しむ「運動遊び」 講師 宮内 孝（南九州大学教授）
- ・講演会：英語と遊ぶ：英語ストーリーテリングおよびコミュニケーション活動で子どもの興味を引く
(Play with Language: Engaging Children with Storytelling and Other Communicative Activities in English)

講師 Kelly King ケリー・キング（福井大学准教授）

4 平成27年度 免許状更新講習実施報告

本学の免許状更新講習は、受講者同士が「じっくり語り合い・聴き合う」ことを通して、各先生方のこれまでの実践を振り返り、今後も先生としての自信と誇りをもって教壇に立つてもらいたいという願いで開講している。

① 必修領域

<教育実践と教育改革>

◇期 日 7月30日（木）～31日（金）

◇参加者 53名

② 選択領域

<特別支援教育における指導の実践>

◇期 日 8月3日（月）

◇参加者 36名

<特別なニーズのある子どもへの支援>

◇期 日 8月5日（水）

◇参加者 41名

<学校教育における環境教育の意義と指導法>

◇期 日 8月4日（火）

◇参加者 22名

<幼・童画について・工作の演習>

◇期 日 8月6日（木）

◇参加者 25名

5 中国上海師範大学との連携

上海師範大学への交換留学も4年目に入る。本年度は2学年学生5名が、4週間の語学研修に参加した。これまでの経緯は次の通りである。

期 間	研 修 場 所	学年	参加学生氏名
平成24年7月9日（月）～8月17日（金）	上海師範大学対外漢語学院	2	福岡 葉
		2	山元 華絵
		2	早田 彩夏
平成25年7月13日（土）～8月24日（土）	上海師範大学対外漢語学院	2	東 貴秋
		2	温水 礼子
		2	黒木 静香
平成26年7月17日（木）～8月15日（金）	上海師範大学対外漢語学院	4	山元 華絵
		2	尾前佳奈江
		2	重永真奈美
平成27年7月19日（日）～8月21日（金）	上海師範大学対外漢語学院	2	岩崎 愛
		2	有村 夏海
		2	斎藤 萌
		2	中山 叶子
		2	宮島 淳

6 テクニカルレポートの発行

子どもの学び研究所では、本学部教員が研究した論文等をテクニカルレポートとして発行している。平成21年度からこれまでの累積は次の表の通りである。

番号	論文等のタイトル	発行期日	教員氏名
1	小学校社会科教育に関する教材開発集・社会科編第1号 小学校社会科5年生の教科教育に位置付けた平成17年台風14号	H21.9.30	赤松 國吉
2	小学校社会科教育に関する教材開発集・社会科編第2号 小学校社会科教育において児童の主體的な学びを促す実践研究	H21.10.30	赤松 國吉
3	現代社会と道徳教育 ―「市民教育としての道徳教育」の提唱―	H21.11.30	澁澤 透
4	子どもたちのいまと子育てについて考える ―自己肯定感を高める子育てに向けて―	H22.1.30	澁澤 透
5	大学における子育て支援の現状と課題	H22.3.1	春日 由美
6	子どもの年齢による子育ての悩みの差異に関する一考察 ―乳幼児から中学生の保護者への質問紙調査を通して―	H22.3.25	春日 由美
7	子どもの内発的興味関心を喚起し、能動的に調査活動に取り組む小学校 社会科の教材開発 ―平成18年台風13号による宮崎県延岡市の被害―	H23.3.25	赤松 國吉
8	教師と保護者との関わりに関する文献的研究	H23.3.31	春日 由美
9	小学校6年生「電子メディアと心身の発達を考える」授業実践報告	H23.3.31	宮内 孝
10	「大正新教育における学校図書館の理論と実践に関する一考察」	H23.3.31	國枝 裕子
11	今後の子どもの遊びの在り方を考えるための一考察	H24.3.26	宮内 孝
12	内発的興味関心を喚起する学習問題の設定	H24.3.31	赤松 國吉
13	単元の展開・構成の在り方についての一考察	H25.3.25	赤松 國吉
14	ボールを捕る動きを引き出す教材づくりのための準備的一考察	H25.3.29	宮内 孝
15	学習意欲を喚起するための社会科学学習指導についての一考察	H26.3.25	赤松 國吉
16	探究的行動力の育成を目指す小学校社会科学学習指導についての一考察	H27.3.16	赤松 國吉

Ⅲ 今後の展望及び課題

本学部及び小学校並びに幼稚園が相互の連携協力を深め、お互いの研究や資質向上を目指し、教育現場と大学がそれぞれの立場や角度から学びあいながら、相互の連携の在り方についての研究及び人間の発達や育ちに関する研究を進めることをねらいとして活動を開始して7年が経過する。

未来に向けて、都城及び三股町そして曾於市を含むこの地域の教育現場の教員や学生そして大学関係者が、互いの垣根を低くして実践研究を協働し、この地域の教育の核となるような取り組みへと活動を拡大することを究極のねらいとしている本研究所の取り組みは、少しずつ、着実な成果が生まれようとしている。毎年、倍率が高くなる小学校教員採用試験にも、合格者が増えてきている。こうした成果は地元ばかりでなく、県内外の評価を高めていると考えられる。今後とも気を引き締めて、若く有意な学生諸君の前途のために、研究所の機能を充実していくことが重要である。

一つの試みとして、今年度、学校における課題の中から、保護者対応や若い師を育てることについて、大学の教員も加わった研究協議の場を設定した。研究員の方々も喜んでいただいたようである。2回程度そうした機会を設定して、学校とのつながりを強めていきたいものである。

また、本学部と学部を取り巻く地域との関わりの中で、どのように連携を図りながら、組織化を促し、研究を結実していくか着実な歩みの中から生み出していきたいものである。

※参考資料1

南九州大学 人間発達学部
子どもの学び研究所 主催

チャレンジ算数教室

算数的活動を楽しみながら算数への興味・
関心を高めます。

日時：第1回 11月21日(土) (計4回実施)
13時30分～15時(受付13時～)

場所：南九州大学 都城キャンパス 小児保健実習室 本館4階
(大学住所 平885-0035 宮崎県都城市立野町 3764番地1)

対象：小学校2年生～小学校5年生とその保護者(先着20組)
※子どもだけの参加はできません。※参加費は不要です。
※1回だけの参加も可能です。



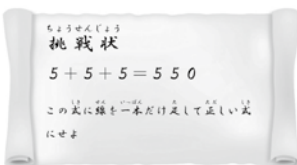
スケジュール

第1回 11/21 速路を突破できるかな？
第2回 11/28 敷き詰めてみよう
第3回 12/5 算数音楽会(学園祭があるよ！)
第4回 12/12 折り紙が変身

準備：筆記用具

申し込み方法
下記の内容を記載して
FAXかメールで申し込んで下さい。
①児童の名前と学年
②保護者様の連絡先を送信して下さい。
申し込み期限：11月19日(金)

連絡先
メール child@mankyu.ac.jp
電話 0986-21-2111
Fax 0986-46-1051
人間発達学部
館 雪梅(ちょう せつばい)



※参考資料2

平成27年度 産学官連携バックアップセミナー
都城・南九州大学人間発達学部 子どもの学び研究所

子どもの健やかな育ちをめざして ～子どものからだと心を育む「運動遊び」「英語活動」～

近年、子どものからだと心にかかわる様々な問題が生じています。
この問題解決のために、保護者、保育・教育機関、地域社会が連携
して取り組まなければなりません。
そこで、本講座では、「運動遊び」と「英語活動」を取り上げて、社
会・地域ではどのような取組が必要かを参加者のみなさんと一緒に
考えます。

＜講師＞
(1)実技：親子で楽しむ「運動遊び」 宮内 孝(南九州大学教授)
(2)講演会：英語と遊ぶ：英語ストーリーテリングおよびコミュニケー
ション活動で子どもの興味を引く
(Play with Language: Engaging Children with Storytelling
and Other Communicative Activities in English)
Kelly King ケリー・キング(福井大学准教授)

＜講師紹介＞
Kelly King(ケリー・キング)先生は、子どもが英語を楽しむが手立と
して、「ストーリーテリングによる単語を覚える活動」を取り入れた研究に
取り組まれている学校英語教育のスペシャリストです。また、子どもと保
護者を対象とした英語ストーリーテリングを開催されており、指導実績も
豊富な先生です。

プログラム(Program)
日時：2016年2月13日(土) 9:30～12:30
場所：南九州大学都城キャンパス体育館・2号館2101, 2102

講 題	参加対象者	時 間	場 所
1 実技 親子で楽しむ「運動遊 び」	・5、6歳児とその 保護者 ・小学校1、2年生 児童とその保護者	受付：9時～9時30分 実技：9時30分 ～10時45分	体育館
2 講演会 英語と遊ぶ：英語ス トーリーテリングおよ びコミュニケーション活 動で子どもの興味を引 く①みんなで楽しむ英 語ワークショップ ②子どもを対象とした 英語活動についての講 話	・実技参加者 ・講演会への参加 者	受付：10時45分～11時 講演会：11時 ～12時30分 (開会行事10分含む)	2101 教室

※実技について
・保護者の参加が必要です。子どものみの参加はできません。
・実技後の「講演会」参加が必要です。実技のみの参加はできません。
・運動ができる服装、シューズ、飲み物を持参してください。
・けが等については、スポーツ保険の適用内での対応となります。
※「講演会」のみ参加も受け付けます。
※事前予約にて定員所が利用できます。

参加定員
・実技・・・50組 ・講演会・・・100名
・申し込み順で参加を決定します。

主催者：都城・南九州大学人間発達学部 子どもの学び研究所
参加費：無料
申し込み：2月13日までに、下記内容を入れて、「バックアップセミナー」の件名でFAXかメールで
お申し込みください

※実技参加希望者
・保護者…氏名、年齢、住所、電話番号
・子ども…氏名、年齢、通っている保育園名・幼稚園名・小学校名
・講演会のみ参加希望者…氏名、住所、電話番号(当日の受付も可也)

申込先 0986-21-2113 ・E-mail: child@mankyu.ac.jp
□ 問い合わせ先 南九州大学人間発達学部 宮内まで TEL:0986-21-2111